

季刊紙

創刊号：2009年 1月発行

発行者：寿泉堂クリニック

イベント企画委員会

# ひまわり

NO.1

祝！創刊号

～年頭のごあいさつ～



寿泉堂クリニック  
院長  
白岩 康夫

～『ひまわり』の発行を言祝ぐ～

お正月早々、青森県八戸市で送水管の破損による市域70%に及ぶ断水事故がありました。幸い午後のことでしたのでその日は無事に透析を終え、翌日から2施設が給水車で対応、1施設は井戸水で、1施設がサテライト施設で透析を行いました。災害は何時起こるかわかりません。私達は常に万が一を考えて業務を行っています。そして災害に備えるためにも、またより良い透析医療を提供するためにも患者さんとの間に密接な関係を持つ必要があります。「ひまわり」は医療スタッフと患者さんをつなぐ糊のような役目をはたすでしょう。そして患者さんが旅行した時の楽しい話や趣味にちなんだ文章が載るようになったら、もっと素晴らしいものになると期待しています。



寿泉堂クリニック  
事務長  
助川 清

透析センターでは、それぞれのコミュニケーションを大事にしております。

職員は、患者さんの話をよく聞き、患者さんが何を望み何が必要なのかを考えようとしております。透析の事・食事の事・保険制度の事など多くの情報を提供し、患者さんが望む治療やシステムがあれば前向きに検討いたします。遠慮せず何でもご相談され、職員とのコミュニケーションを密にし職員をご利用下さい。

患者さんには、患者さん同士の良好なコミュニケーションをお願い致します。皆様それぞれに個人的事情をお持ちです。思いやりを持って理解を示せばトラブルにはなりません。自分をも理解され、良き相談相手になれると思います。

職員同士もよいコミュニケーションをとり、チーム医療を提供しております。本紙『ひまわり』が患者さんの笑みを引き出す力になればうれしく思います。



寿泉堂クリニック  
看護科長  
橋本 則子

新しい年明けとともに、季刊紙“ひまわり”の発刊が出来た事を大変嬉しく思っています。これからの医療は病気に主眼をおく「直す治療」から、病を抱えながら生活する患者さんとその家族を対象にした「支える医療」がより強化される時代であると考えます。

まだ顔を見た事がない、会話をした事もない患者さん同士でも、この季刊紙が多少なりとも「相手を知る」「相手を思いやる」気持ちに繋がり、患者さんとその家族・スタッフが、ひまわりの花のごとくに、明るく・爽やかな日々を送る事に繋がるように期待しております。

# ～昨年11月20日に送年会を開催しました～

現在、寿泉堂クリニック透析センターにて透析を行っている患者さんは、138名いらっしゃいます。昨年透析患者さんを対象に実施した「接遇アンケート」では63%の患者さんが患者・スタッフ間の交流会があればよいと答えており、イベント企画委員会で話し合いをした結果、まず第一歩としまして、忘年会ならぬ、送る年ということで送年会を開催することになりました。送年会は昨年11月20日に、姑娘飯店にて行い、32名の患者さんにご参加いただき、スタッフも含め総勢50名の参加となりました。当日は看護師の相楽信子さんによるマジックショーやビンゴゲームなどを行い、大変盛り上がりました。患者さん・スタッフを問わず楽しい時間を過ごすことができました。今後は今回のようなイベントを通して出来るだけたくさんの患者さんが参加でき、楽しめるイベント、学べるイベントなども企画していきたいと思っておりますのでご期待下さい！

☆送年会のスナップ写真☆



## ～患者さん声の広場～

今回創刊号では丑年生まれの患者さんに今年の抱負を語ってもらいました!!!

**健康第一で、現状維持で今年も頑張っていくべ!**

～透析歴22年 鈴木新次さん～

夫が亡くなって3年経ち、今迄神社にお参りに行ってなかったし、今年、年女という事もあり、歩いてお参りに行って来ました。神様にお願いをする事が出来て、守ってもらえそうで、気持ちがホッとしてスッキリとし、今年も頑張ろうと思いました。  
～透析歴5年 女性より～



一年一年大切にしていきたいと思う  
～透析歴7年 丹紀子～

今年60歳、還暦で年とったなあつくづく感じる。気持ちは若いんだけどねえ…長生きする為にこれからも努力を続けていきたいね。  
～透析歴12年 青木兼雄さん～

**人生残り20年とすると…犬でも飼うかな**  
～透析歴21年 男性より～

還暦を迎えて、体が一番順調で嬉しく思います。昨年は何かと大変だったので今年は家族が健康に過ごせる良い年になるといいと思います。  
～透析歴17年 女性より～

今年も先生、スタッフの皆様にお世話になりまして一生懸命に頑張っていきたいと思います。  
～透析歴25年 男性より～

今年で23年目になります。透析を始めた時は「5年～10年位しか生きられないです」と言われました。しかし、今現在生きている。この幸せは医療の技術の進歩はもちろんです。しかし最も大きなことは、保険が適応されたこと。1ヶ月60～80万もかかる医療費。負担がほとんどなくなった。この医療費の裏には患者の会がありました。過去があるから現在があります。  
透析歴23年 浮内昇さん

**次の年男になる時まで頑張るぞ! モ～ウ12年!!**  
透析歴7年 岩村進さん

今まで無事に生きてこれているからこのまま頑張っていきたい。まさかここまで生きられるとは思わなかった。これも多くの先生、看護師さんのおかげです。  
～透析歴21年 横山勝さん～

**今年も透析頑張るぞ!**  
透析歴13年 滝田弘利さん

皆さんにお世話になりながら、一歩前進の気持ちで頑張っていきたいと思います。透析歴4年 男性

寿泉堂病院、寿泉堂クリニックへと早いもので私も今年で16年お世話になっております。今、私が元気になれるのも医師、看護師スタッフの皆様のおかげと感謝致しております。今後も今まで同様よろしくお願ひ致します。  
透析歴16年 男性より

**♪ご協力頂いた皆様、ありがとうございました♪**